

淀川の歴史・文化を知ろう！（1）

川辺歩きで冬鳥の観察会

東淀川区は淀川右岸におよそ7キロメートルも接していますが、わたしたちは淀川のことをどれだけ知っているでしょう？

淀川にもっと親しんでもらうために、河川レンジャーと川辺歩きで川の歴史的背景、自然環境、生活と川について改めて見詰め直してみようと思います。 今回は淀川の野鳥探察の達人・菊井睦夫さんにお越しいただき、川面や河畔の冬鳥観察を行ないます。

2月12日(日)　1時30分 ～ 4時　■雨天決行

《菅原城北大橋 北詰め人道入口付近に集合》（集合地の地図は裏面）

菅原城北大橋から淀川河川敷に入って、ヨシの群落や豊里タマリ、平成ワンドで過ごす越冬野鳥を観察。

水辺の自然環境の変化や、さまざまな河川施設を確認しながら柴島再生実験干潟まで歩きます。（約3､5km）

対象：普段から地域ウオーキングに勤しんでいる人。自然観察や野鳥に関心が深い方。
小学生以下の方は父兄同伴で参加ください。 新たな発見に出あえる可能性がある絶好のコースです。
［用意する物］ 暖かい服装、軍手、水筒、図鑑・双眼鏡（あれば）、メモ帳 など。
参加費：無料。
募集人数：30 名（申込先着順）。

＊申し込み、お問合せは、下記へメールもしくは電話・FAX でご通知ください。

○ 河川レンジャー（担当＝崎谷）
E-mail ：honjyo3tyome@yahoo.co.jp　Tel ：090-2285-2837
○ コミュニティスポット東淀川（担当＝北川）
E-mail ：supot@higashiyodogawa.net　Tel ＆ Fax ：06-7494-9064

主催＝淀川管内河川レンジャー
支援＝国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所　協力＝コミュニティスポット東淀川

講師紹介



崎谷　久義（さきたに・ひさよし）

1948 年　兵庫県 姫路市生まれ。

ミュージアムや商環境の空間プロデュースを長年にわたって携わり、代表的な仕事のひとつに 大阪海遊館 がある。

2010 年より 国土交通省 淀川河川事務所管内の河川レンジャーを受託。

里山保全運動の NPO「太市の郷」代表。兵庫県「学びの農」インストラクター や グリーンサポーターなどで、子どもたちの環境体験学習に援助活動を繰り広げている。



菊井　睦夫（きくい・むつお）

1945 年　岡山県 備前市生まれ。

商業写真・航空写真の撮影を手掛ける一方、1987 年より淀川下流域で野鳥撮影を開始。

1989 年の淀川ネイチャークラブ発足に参画し、現副会長。2004 年には大阪府下で初代の河川レンジャーとなる。 2011 年 3 月にレンジャー任期を満了し、現在も河川レンジャーアドバイザーとして観察活動を続けている。

著書に、淀川で撮影し構成の野鳥カルタ『写真和歌集 淀川の鳥』（英訳、中国語訳）がある。

河川レンジャーとは

住民と行政が一緒になって、淀川を守り育てていくことを目指して、淀川・宇治川・桂川・木津川をフィールドに、川に関するさまざまな活動を行っています。

活動を通じて地域のみなさんに淀川のファンになってもらい、これからの川づくりを一緒に考えていけるよう呼びかけています。 川に目を向けてもらい関心をもってもらう活動を、小・中学校、区役所、消防署、水防団などと連携して行っています。



■ 集合場所（菅原城北大橋 北詰め人道入口）

【阪急】京都線 上新庄駅から南方向に徒歩 20 分　【市バス】東淀川区役所前・菅原 2 丁目下車南東方向に 500～350 メートル

参 加 申 し 込 み 書

（ ふりがな ）

氏　　名 ：　　他（　　名）

連絡先住所 ： 〒　　電話 ：